

97years of life



平成21年、古河文学館テーマ展記念講演会「『岩倉具視』で言いたかったこと」



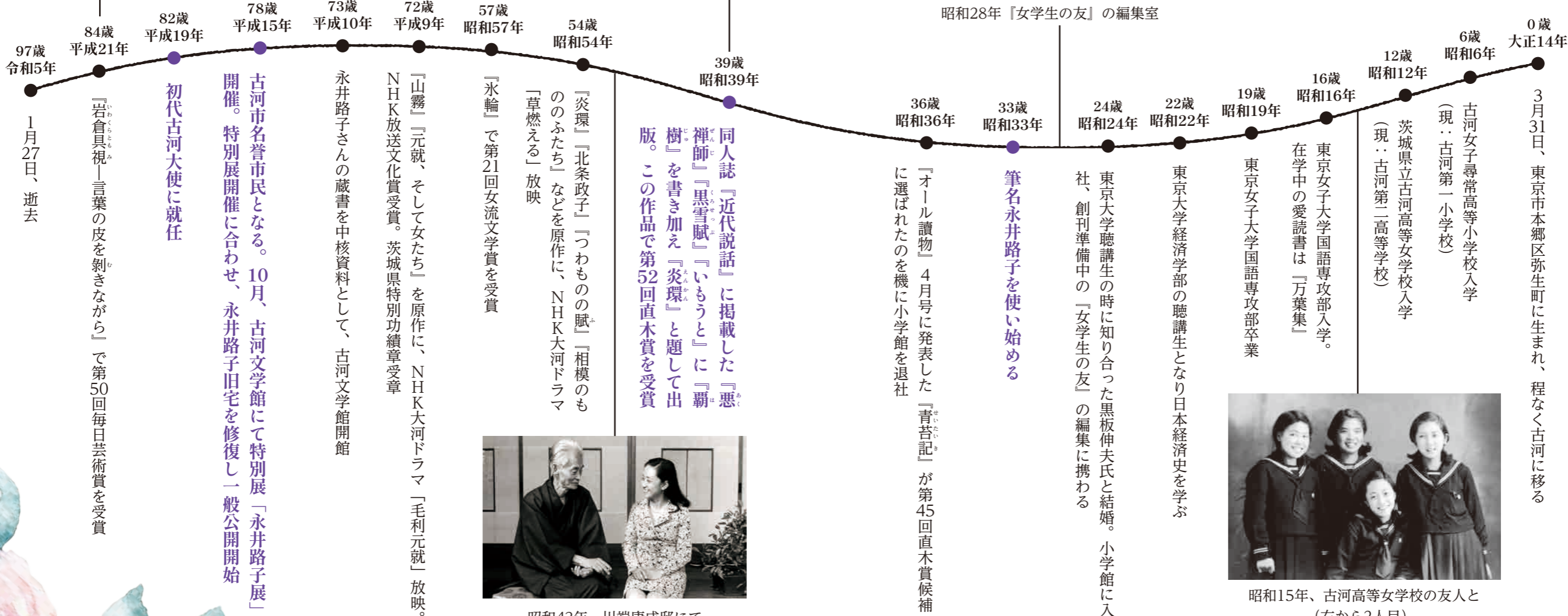
平成15年、修復された永井路子旧宅と開館記念式典



昭和57年『氷輪』サイン会



昭和40年、直木賞授賞式での永井夫妻



永井路子さんをしのんで

女性の役割に光を
当てる歴史小説家

古河ゆかりの直木賞作家で、古河市名誉市民・古河大使でもあった永井路子(本名・黒板擴子)さん。20年余りを古河で過ごした後も、出版やテレビ・ラジオのコメンテーターの活動を通じて古河をPRし、市の名声を全国的に高めていただきました。そのほか、古河歴史博物館や古河文学館等の開館の際に多額の寄付や2万円以上にのぼる肉筆原稿、執筆資料・蔵書等を寄贈し、市内中学校等の校歌策定における助言協力を行うなど市の教育・文化面でもご尽力いただきました。

郷里を離れてなお、愛情を注いでくださった永井さんの一生を振り返るとともに、功績や作品について紹介していきます。



昭和28年『女学生の友』の編集室

永井路子略年譜



昭和15年、古河高等女学校の友人と(右から2人目)